

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 26. 3. 26 第 186 回国会第 6 号

3 月 26 日（水）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 ①次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 31 号）

②短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 32 号）

・田村厚生労働大臣、土屋厚生労働副大臣、葉梨財務大臣政務官、高鳥厚生労働大臣政務官、赤石厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

（参考人）独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長 小 林 利 治 君
中央職業能力開発協会理事長 青 木 豊 君

・高橋千鶴子君（共産）提出の②に対する修正案について、提出者高橋千鶴子君（共産）から趣旨説明を聴取しました。

・①について採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、結い、共産、阿部知子君（無））

・①に対しとかしきなおみ君外 3 名（自民、民主、公明、共産）から提出された附帯決議案について、柚木道義君（民主）から趣旨説明を聴取しました。

・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。

（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、結い、共産、阿部知子君（無））

・②に対する修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。

（賛成一共産、阿部知子君（無） 反対一自民、民主、維新、公明、みんな、結い）

・②について採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、結い、共産、阿部知子君（無））

・②に対しとかしきなおみ君外 2 名（自民、民主、公明）から提出された附帯決議案について、大西健介君（民主）から趣旨説明を聴取しました。

・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。

（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、結い、共産、阿部知子君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

豊 田 真由子君（自民）

- ・医療介護分野の人材不足への対応策や各地域における多職種連携による地域包括ケアシステムの構築に向けた今後の取組方針について伺いたい。
- ・女性の働き方の多様化に対応するために個人型確定拠出年金制度を専業主婦も加入できるものにすべきとの意見に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・保育士・幼稚園教諭の処遇改善や人材確保に向けた厚生労働大臣の決意と具体的方策について伺いたい。

古 屋 範 子君（公明）

- ・本年 3 月 17 日にベビーシッターを名乗る男性の自宅から男児が遺体で発見された事件を踏まえ、ベビーシッターの現状について、早急に実態調査を行う必要があるのではないか。また、再発防止に向けた厚生労働省の対応方針について伺いたい。

- ・次世代育成支援対策推進法のくるみん認定や新たなプラチナくるみん認定の取得促進のために企業への経済的インセンティブの強化を図る必要があるのではないか。
- ・児童扶養手当について年金との併給調整を行わず全額支給すべきではないか。また、受給期間が 5 年を超える場合の一部支給停止措置は廃止すべきではないか。

柚 木 道 義君（民主）

- ・ベビーシッターを利用する際の安全性を速やかに確保するため、仲介サイトに関する暫定的な利用ガイドラインを作成するなど何らかの対応が必要ではないか。
- ・多くの女性が非正規で働く現状を踏まえ、非正規雇用労働者でも育児休業を取得でき就業継続が可能となる環境整備を支援することが必要と考えるが、厚生労働大臣の決意を伺いたい。

大西 健介君（民主）

- ・パートタイム労働法の賃金の均衡確保の努力義務の対象外となるものとして通勤手当が明示されているが、一律に対象外とするのは適当ではないのではないか。
- ・いわゆる「フルタイムパート労働者」はパートタイム労働法の対象とならないが、今後どのように対応していくのか、厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・ベビーシッターによる遺棄事件が生じた原因の一つに公的な保育サービスの脆弱さがあり、ベビーシッターサービスに関する公的な支援を検討すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

清水 鴻一郎君（維新）

- ・短期集中特別訓練事業の入札の公示前夜に厚生労働省担当職員と（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構（J E E D）担当者らが飲食を共にしているが、その経費の分担はどのように行ったのか伺いたい。
- ・競争入札しても一者しか応札できないような事業であれば、透明性を高めながら随意契約にする等、調達の手組みを考え直す必要があるのではないか。
- ・今回のベビーシッターの事件に関し、仲介サイトでベビーシッターを探した母親を非難する意見もあるが、厚生労働大臣の所感を伺いたい。

長妻 昭君（民主）

- ・我が国の社会保障給付費が最大となるのはいつ頃と考えているのか、また、2025年以降の社会保障全体の供給量の試算を行う必要性について政府内で提起することについて、厚生労働大臣に伺いたい。
- ・パートタイム労働法に基づく差別的取扱いの禁止には社会保険の加入についても含まれることを確認したい。
- ・本来は厚生年金及び健康保険に加入すべきであるにもかかわらず、未加入となっている者の実態についてサンプル調査を実施する必要があるのではないか。

玉木 雄一郎君（民主）

- ・短期集中特別訓練事業の入札問題について、現在、調査中であるにもかかわらず、同事業の再入札の公示をした理由について伺いたい。
- ・短期集中特別訓練事業の実施主体は中央職業能力開発協会であるにもかかわらず、同事業の委託の入札事務を厚生労働省が行う根拠について伺いたい。
- ・仮に中央職業能力開発協会がJ E E Dに落札させることについて事前に認識していたなら、緊急人材育成就職支援基金事業に関して不正、怠慢その他不適切な行為があったとして、同事業は執行停止すべきではないか。

重徳 和彦君（維新）

- ・長時間労働や頻繁な異動など、終身雇用を前提に会社への所属意識の強い正社員の働き方が女性の活躍を阻害しているのではないか。
- ・同一価値労働同一賃金を実現すべきと考えるが、パートタイム労働法改正案により正社員とパートタイム労働者の待遇の差はどの程度改善すると見込んでいるか。
- ・日本の活力を高めるため、国を挙げて労働者の転職や企業の再編を容易にする施策に取り組むべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

小熊 慎司君（維新）

- ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」取得を促進するためには、企業規模に応じた多様な措置を講ずることが必要と考えるがいかがか。
- ・少子化対策のためには、男性の育児休業取得のみならず育児参加を促進することやキャリア教育に男女の育児の在り方を盛り込むことが必要ではないか。
- ・生産年齢人口が減少する中、将来的な労働力の確保策について、国民的議論を呼びかけ、長期的対策を講ずるべきと考えるが厚生労働大臣の見解を伺いたい。

中島 克仁君（みんな）

- ・今回のパートタイム労働法改正案の内容や就業調整に係る制度など事業主に必要な情報を説明・周知し、パートタイム労働者の雇用に係る事業主の不安を払拭すべきではないか。
- ・非正規など就業が不安定な状況にあるひとり親家庭の親が増えている理由について、厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく大綱を早急に策定し、必要な施策を平成27年度予算概算要求に盛り込むべきと考えるが厚生労働大臣の見解を伺いたい。

井坂 信彦君（結い）

- ・補助金の受給要件や公共入札の要件にくるみん認定の取得を追加する可能性はあるか。
- ・企業に対し、事業主行動計画の策定や届出だけにとどまらず、新たなプラチナくるみん認定の取得を促すための方策について伺いたい。
- ・正社員とパートタイム労働者間の賃金格差の解消に向けた政府の取組について伺いたい。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・ 1対1であることからコストが最も高く、密室性から安全の面でも懸念があるベビーシッターによる保育に関し、保育の質を確保するための方策について伺いたい。
- ・ マニュアル的な保育施設の事故報告書では実態把握が困難であるだけでなく、再発防止策にもならないと考える

がいかがか。

- ・ 改正された労働契約法の規定では有期パートタイム労働者が5年以上の反復更新により無期雇用になるだけであり、待遇改善に直接つながらないと考えられ、賃金などを含めた全体の待遇を均等に近づける方策がより重要なのではないか。

2 独立行政法人医薬基盤研究所法の一部を改正する法律案（内閣提出第58号）

- ・ 田村厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。